

2018 年度 第1回 中央委員会開催

8 月 31 日(金) 午後 1 時より東京・友愛会館 9 階「大ホール」において、2018 年度第 1 回中央委員会を開催しました。

古賀副中央書記長の司会により、議長には加藤中央委員(コクヨ労組)が就任し、議事次第に沿って進められました。中央委員会の開催にあたり、田倉中央執行委員長より以下の挨拶がされました。



司会進行
古賀副中央書記長



議長に選出された
加藤中央委員

田倉中央執行委員長の挨拶



全国各地から中央委員会へ出席いただき感謝いたします。本日の中央委員会の位置付けは、2 年間の運動方針の後半期に向けた運動方針補強(案)と予算(案)を審議いただくこととなりますので、忌憚のない意見をいただきたいと思ひます。

先ずは、中四国地方や九州の一部を襲った「平成 30 年 7 月豪雨」の被災状況ですが、200 名を超える死者や未だに行方の分からない方、更には未だに 2,000 名を超える避難生活者があります。すべてのお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りすると共に、被災されたすべての方々に対しましてお見舞いを申し上げます。連合は「西日本豪雨被害情報センター」を立ち上げ、カンパ活動や地方連合会を通じたボランティア、災害ニュースの発行などによる対応を図っており、我々も地方協議会および構成組織を通じたカンパ活動を実施中ですので出来る限りのご協力をお願いいたします。日本で暮らし、そして働いている限り、自然災害と

の向き合い方を改めて認識すると共に、減災や被害後の対応など必要な措置を常日頃から認識しておくことが必要であることを感じました。

2018 春季生活闘争について、連合は「底上げ・底支え」「格差是正」を目指し、定期昇給相当分もしくは賃金カーブ維持分を含めて 4%程度の賃上げを求めた方針が示されました。我々印刷労連は、連合方針に基づくと共に「日本経済の好循環と企業の成長を確実なものにしよう!」をスローガンに、「賃上げ」「一時金」「労働諸条件改善」の 3 本柱の基、賃金カーブ維持分プラス 2%の賃金改善、年間 4 カ月の一時金、職場環境の改善を闘争方針に掲げ展開してきました。回答内容は、賃上げについては全体では対前年比でプラスとなり 5 年連続の賃上げが実現したものと受け止めます。しかしながら、300 人未満の構成組織については十分な賃上げが実現せず、課題として残されました。また、労働諸条件についても多くの回答が引き出され成果として受け止めたいと思ひます。5 年連続の賃上げが実現できましたが「賃金は上がるもの」が当たり前となるよう 2019 春季生活闘争に向けた準備を進めたいと思ひます。

政策課題について、「働き方改革関連法」が成立いたしました。特に、時間外労働の上限規制は形骸化されていた時間外労働の上限規制が罰則付きとなりました。2019 春季生活闘争への対応も含め今後の労使間の議論を注視していきたいと思ひます。これらの法案審議に向けては、印刷労連本部として要望書を取りまとめ、常日頃より連携している推薦国会議員へ要望書を提出し、国会審議に臨んでいただきました。今回の法案には要望書の内容も多く取り入れられ、我々の想いが国政へ届いたものと受け止めます。また、国会閉会後には推薦国会議員と厚生労働省も含めて「職場環境改善意見交換会」を開催し、今後の国会審議に向けた要望をいたしました。

本日は、向こう 1 年間の運動方針補強(案)と予算(案)を審議していただきます。昨年開催した第 26 回大会で採択した運動方針を補強し、残り 1 年間で完遂するべく実行部隊としての本部および専門委員会、そして地方協議会、更には構成組織相互の連携を密にしていくことが重要であると思ひます。中央委員各位の議論への参画をお願いして本部を代表しての挨拶とさせていただきます。

2018年度 第1回中央委員会 審議・確認事項

～意見を出された中央委員～

1. 一般経過報告

- (1) 内部・外部関係活動報告
- (2) 2017年度本部活動報告
- (3) 2017年度決算報告
- (4) 2017年度会計監査報告
- (5) 2018年度中央委員の変更について



横江中央委員
(共同印刷労働組合)



川村中央委員
(共同印刷労働組合)

2. 議事

- (1) 2018年度運動方針補強(案)について
- (2) 2018年度予算(案)について
- (3) 第25回参議院議員選挙における候補者推薦について
- (4) 構成組織からの会費減免申請について

3. その他

- (1) 「SOGI：性的指向及び性自認に関する差別禁止」に向けた印刷労連の取り組みについて



SOGIの取り組みについて説明する
古賀副中央書記長

2017～2018年度運動方針補強



2017～2018年度運動方針は第26回大会において確認され、それに基づき1年間の活動を展開してきた。1年が経過した中で、活動内容を振り返ると共に課題を明確にし、残り1年間で運動方針の完遂を目指していかなければならない。従って運動方針を補強し、向こう1年間の活動を精力的に展開していく。

運動方針の基本的な考え方は、「綱領」を基本理念とし、「産業政策」における不十分な点を視野に、「印刷情報メディア産業労働者の経済的・社会的・政治的地位の向上により、働く者の幸福の追求を期す」ことを念頭に掲げ、大きな柱を①雇用の安定と労働諸条件の維持向上、②組織の充実・強化・拡大、③産業政策の実現と印刷産業の発展、④労働者福祉の向上と文化的活動の推進、⑤福祉国家の実現と国際平和、の5つの柱で運動を進めてきた。運動方針の補強に向けては、各項目の不十分な点を補強すると共に、実施してきた内容については更に進化させるべく運動を強化していく旨を、宍戸中央書記長より提起されました。



決算報告と予算(案)の提案
中村財政部長



閉会の挨拶
佐藤副中央執行委員長



全ての議題が満場一致で可決されました。

浜野よしふみ参議院議員国政報告

浜野よしふみ参議院議員をお招きし、第25回参議院議員選挙における印刷労連の推薦決定通知書を田倉委員長よりお渡ししました。その後、浜野よしふみ参議院議員より国政報告をいただきました。私たちの働く環境に関わる働き方改革関連法やエネルギー政策について報告がありました。私たち印刷労連に集う仲間の職場の声を国政に届けるべく、これからも支援して参ります。



2017～2018年度運動方針補強内容（要約）

1. 雇用の安定と労働諸条件の維持向上

- ①健全な労使関係の構築
- ②雇用調整などへの対応
- ③高齢法に対する全構成組織における制度導入
- ④各種経営施策への対応
- ⑤賃金水準に対する産業間および企業間格差の是正
- ⑥年間収入の一部として捉えた一時金の確保
- ⑦年間総労働時間の短縮
- ⑧各種労働諸条件の改善と労働法制に対する制度構築
- ⑨「生活・就労アンケート」の集約・分析と継続した取り組み
- ⑩「多様な働き方の構築に向けて」を活用した各種制度導入

2. 組織の充実・強化・拡大

- ①各種機関会議の計画的な開催
- ②ブロック会議の開催と開催方法の検討
- ③地方協議会代表者会議、事務局長会議、構成組織代表者会議の開催
- ④非正規雇用労働者、60歳超の雇用労働者、関連企業における未組織労働者、印刷関連企業における労働組合の組織化
- ⑤個人のニーズに合った多様な働き方の構築
- ⑥「教育体系」を活用した各級役員の教育
- ⑦女性を対象とした情報共有機会の設置
- ⑧地方協議会青年委員会代表者会議および研修会
- ⑨中小企業政策の実現
- ⑩時代の変化に合った規約の見直しと組織運営
- ⑪本部および地方協議会における適正な予算配分と財政処理
- ⑫「NETWORK」の定期的な発行と「ホームページ」の随時更新

3. 産業政策の実現と印刷産業の発展

- ①産業政策の実現
- ②印刷産業としての社会的および経済的地位の向上
- ③各種指針を活用した健康対策
- ④職場におけるストレス対策およびメンタルヘルス対策
- ⑤全構成組織における「安全衛生委員会」の設置
- ⑥「印刷産業における適正な取引の推進」を活用した企業への提言活動

4. 労働者福祉の向上と文化的活動の推進

- ①労金運動の推進と連携
- ②全労済との連携による「生活保障設計運動」の推進
- ③「ライフステージと各種制度」を活用した福祉の向上
- ④労金および全労済ならびに独自での教育活動

5. 福祉国家の実現と国際平和

- ①連合運動に対する各種役員の派遣と運動への参画、地方協議会における連合への派遣役員相互の連携
- ②日本生産性本部および全労生への各種役員派遣と生産性運動への貢献
- ③富士社会教育センターとの連携による自組織の成長と人材育成
- ④アジア連帯委員会への協力と現地視察の検討
- ⑤政治活動における各級議員との連携と政治活動への参画
- ⑥UNIを中心とした国際組織との連携強化

2018年度構成組織代表者会議開催

2018年9月1日（土）東京・友愛会館において2018年度構成組織代表者会議が開催され、構成組織代表者、地方協議会議長を含め34名が出席しました。はじめに2018年度の地方協議会における年間活動計画を共有し、今年度の活動に向けて議論しました。また各構成組織における雇用政策、労働政策、環境政策についての現有課題を共有し、活発な意見交換となりました。抱えている諸課題は共通するものも多く、それらの解決に向けた取り組みは産業政策の実現につながります。印刷関連産業においても事業形態、雇用形態が多様化する中で、課題解決に向けて情報共有を図ることが重要です。今後も地方協議会、構成組織と共に共有化を図りながら課題解決に向けて取り組みます。

【意見交換内容】

1. 雇用政策について
2. 労働政策について
3. 環境政策について
4. その他



「平和行動 in 広島」活動報告【報告者：副中央執行委員長 大塚 新二】

暑さが増す8月5日、印刷労連は平和行動の取り組みのため、団長含む派遣者13名が広島へ降り立った。世界で初めて原子爆弾が投下された8月6日の「原爆の日」に合わせ、1日目は平和公園内に設置したピースウォークに参加。被爆の爪痕や慰霊碑、その時の状況などを伺い、戦争の悲惨さや過酷さを知った。夕方からは場所を移し「被爆73年連合2018平和ヒロシマ集会」が開催され、「語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で核兵器廃絶と恒久平和を実現しよう」をテーマに、被爆体験証言を聞いた後、広島市立大学広島平和研究所の准教授より「NPT再検討会議に向けた準備委員会の検討状況等」について講演を拝聴した。さらに、高校生平和大使から「ビリョクだけどもリョクじゃない!」をテーマに、1年間活動した取り組み報告があった。終盤になり、ピースフラッグが連合長崎に手渡され、最後にヒロシマ平和アピールが会場全体で採択された。

2日目は平和公園にて「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」が執り行われ、我々も会場よりほど近い場所で式の終始を見守った。

全世界の人々が想う恒久平和が、時代や場所を隔てず変わらないことを願い、引き続き取り組んでいきます。



「平和行動 in 長崎」活動報告【報告者：中央書記長 宍戸 良太】



8月8日から2018平和行動 in 長崎に12名で参加しました。初日は、被爆73年「連合2018平和ナガサキ集会」に出席。3,360名の連合の仲間が長崎県立総合体育館に集い、ナガサキからの平和アピールを全会一致で確認しました。昨年国連で採択された「核兵器禁止条約」に引き続き、今年6月12日に史上初の米朝首脳会談が実現し、核兵器廃絶に向けた機運は高まりつつあります。しかし、日本政府はその条約に参加していません。今こそ、唯一の戦争被爆国としての主体的な役割を発揮すべきであり、その想いはヒロシマとナガサキ共通の、私たち国民の強い想いでもあります。

9日には長崎市主催の「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」に参列し、原爆犠牲者の冥福を祈ると共に、核兵器廃絶と恒久平和の実現を願いました。今年は国連の事務総長では初めて、アントニオ・グテーレス氏が出席され、「ここ長崎で、私はすべての国に対し、核軍縮に全力で取り組み、緊急の問題として目に見える進歩を遂げるよう呼びかける」「長崎を核兵器で苦しんだ地球最後の場所にするよう決意しよう」と呼びかけられ、その言葉が強く印象に残りました。

例年、天候に左右され中止になる機会が多い「万灯流し」も今年は実施され、印刷労連の参加者12名も、それぞれ万灯に願いを書き入れ、浦上川へ想いと共に流しました。

3日間、35℃を超える日が続いた平和行動でしたが、参加者12名、全員行動を全う致しました。参加者の皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。



あらゆる暮らしのシーンをしっかりガード。

ネット・住まい共済	健康共済	ごくめん共済
総合医療共済	介護医療共済	マイカー共済
自動車共済	身体生命共済	交通生命共済
新セット毎月共済		

全労済は、安料を目的とした保障の生活として貴方のことを考え、組合員の皆さまの安心と幸せがあるように努めています。お困りなことがございましたら、組合員におかれ、各種共済をご利用いただけます。

全労済

ROKIN

ろうせんのキャッシュカードなら

0円返済

ATM引き出し手数料0円

キャッシュバック!

働くを支える
暮らしに備える
生活を豊かに

☆印刷労連
☆全労済
☆労働金庫

— 編集後記 —

今の地球はどうなっているのか!? 西日本を襲った記録的な豪雨や、例年では考えられない逆走する台風、連日35度を超える猛暑日が続く熱中症などで体調を崩す人々、また風速60メートルを超える台風は各地に被害をもたらしました。さらに平和行動根室の開催前日に起きた北海道大地震など、数え上げればきりが無いほどの異常気象が続いています。現

地からの報道で濁流や土砂崩れなど被害状況の映像を目の当たりにすると、つくづく大自然の前では人間は無力で有る事を思い知らされます。

被災された方々に御見舞申し上げますと共に、お亡くなりになられた方のご冥福を心からお祈り申し上げます。

教育・広報委員会 大島 聡